

オーク千種

OAK CHIKUSA

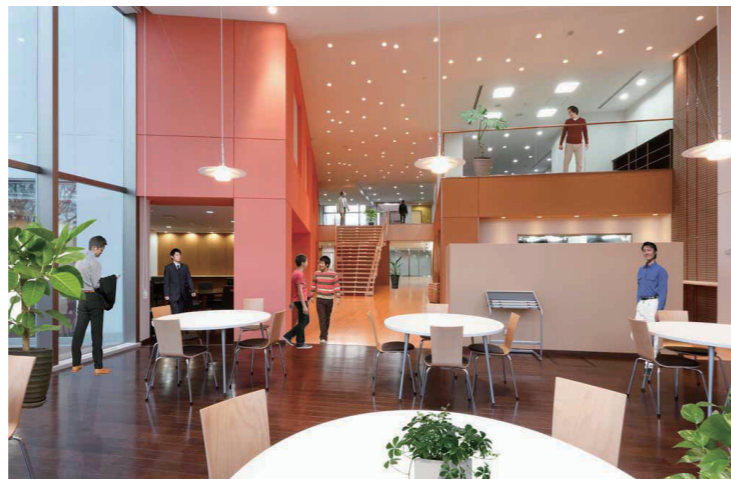
No. 03-024-2012作成

新築
集合住宅

発注者	大林不動産株式会社	カテゴリー	A. 環境配慮デザイン	B. 省エネ・省CO ₂ 技術	C. 各種制度活用	D. 評価技術/FB
設計・監理	株式会社 大林組 OBAYASHI CORPORATION	E. リニューアル	F. 長寿命化	G. 建物基本性能確保	H. 生産・施工との連携	
施工	株式会社 大林組	I. 周辺・地域への配慮	J. 生物多様性	K. その他		

震災時に初動拠点となる環境配慮型社員寮を整備

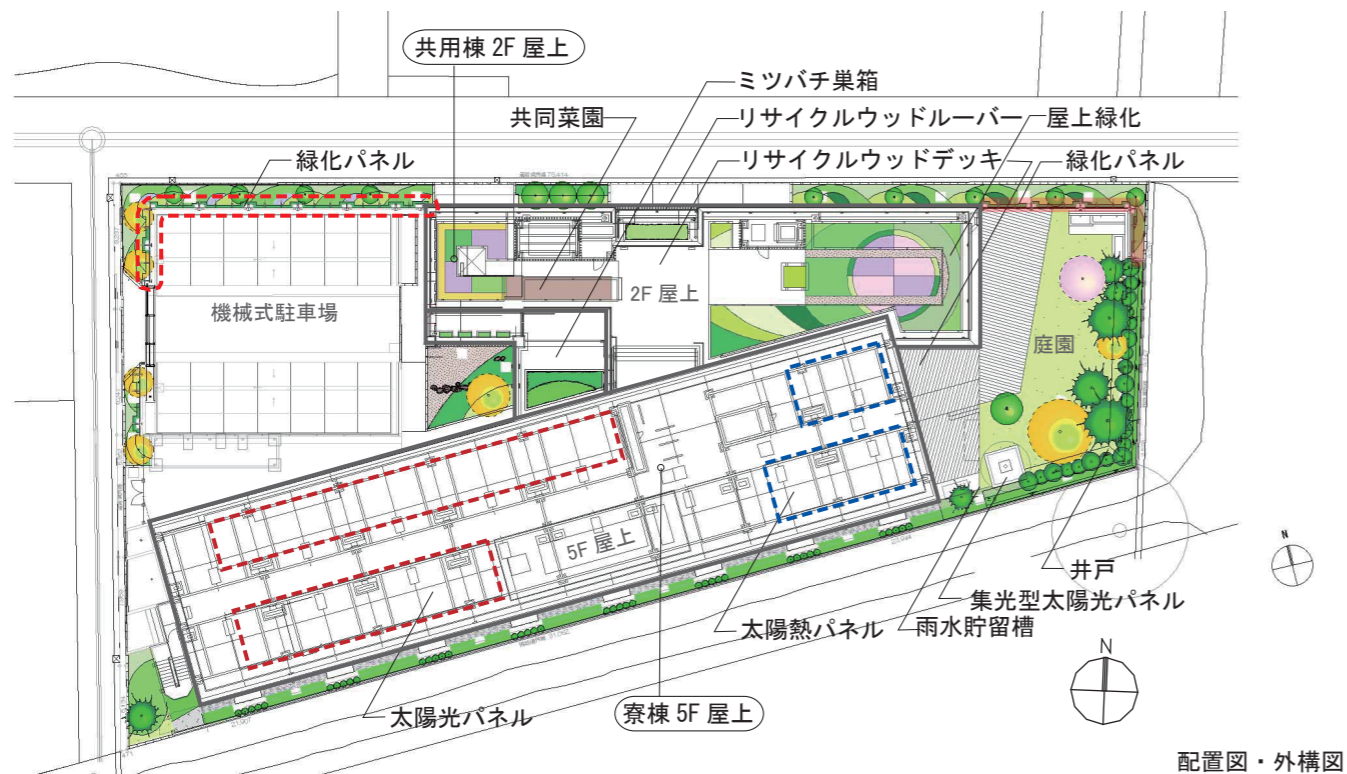
東海地方は、30年以内に巨大地震の発生する確率が80%を超えると言われている。大林組名古屋支店は、東海・東南海地震の影響を受けると言われている地域を所管。2010年度に完成した单身・独身寮を、非常時の初動拠点と位置づけて整備した。大林組の企業理念である「地球に優しいリーディングカンパニー」の方針に基づき、地球・地域の環境に配慮した要素技術を盛り込んで計画された。自然エネルギー利用・省エネルギー計画に加え、さらに非常時の備えにもなるよう、寮に暮らす社員同士の日常のコミュニケーションの促進を目指している。



1階大食堂・2階ラウンジ

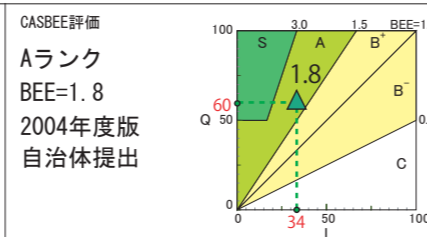
社員の日常の連携促進と生物多様性貢献

社員が自主的に活動する、共同菜園（2階屋上）とミツバチの巣箱（1階屋上）を設けた。共同で育て、収穫物は日常の食事で提供され、生物多様性への意識の向上を助ける。



建物データ	所在地	愛知県名古屋市
	竣工年	2011年
	敷地面積	2,338㎡
	延床面積	4,618㎡
	構造	RC造
	階数	地上5階

省エネルギー性能	PAL削減	14%
----------	-------	-----



初動拠点の司令塔：非常時事務室

寮の一角には、非常用電源を備えた非常時事務室を設置した。衛星携帯電話や無線機などの通信手段を備え、防災拠点である名古屋支店との連携を図り、初動要員と位置づけられた100人を超える社員の指揮を取る。

初動要員としての行動指針

单身・独身寮として122室の寮室がある。日常の連携を非常時に生かし、居住者が震災時の初動要員として対応できるよう行動指針などの整備を進めている。

非常時に地域に貢献する施設の設置

非常時に近隣住民・地域住民の方々も利用できるよう、水、食糧などの備蓄品を備えた。さらに近隣貢献施設として、非常時に利用できるマンホールトイレやAED、かまどとして利用できる防災ベンチを設置した。井戸や雨水貯留槽は、常時散水やWC洗浄水の供給源として利用する一方、非常時には近隣住民の方々に開放して生活水の確保ができるよう、地域社会にも配慮している。

食堂の外部デッキから続く東側庭園には、さらに、手洗場・足洗場やデッキ下の備蓄倉庫があり、いずれも非常時には近隣へ開放する。非常時に利用できる施設を、社員が日常的にも利用することで、非常時の備えとしている。

自然エネルギーの有効利用

太陽光発電設備（屋上30kW・地上1.3kW）を設置し、発電された電力は建物内で利用し、余剰分は電力会社へ売電している。非常時事務室へ直接電力を供給するシステムが併設されており、停電時の防災拠点としての機能をバックアップ。また、太陽熱利用設備（集熱器59.5㎡・蓄熱槽5.0t）を設置し、建物全体の給湯および共同浴場昇温用に利用している。これにより年間給湯負荷の約20%に相当するエネルギーを太陽熱でまかないCO₂排出量を削減する。太陽光発電設備・太陽熱利用設備は、平成22年度新エネルギー等事業者支援対策事業として補助金事業に採択された。また、外部デッキエリアには、レンズを利用して集光発電する新しいタイプの太陽電池も採用しており、地域への環境アピールにも貢献している。

省エネルギー

LED照明器具、人感センサーを利用した照明制御、超節水型便器、雨水利用設備、太陽熱利用設備などの省エネルギー設備を設置した。また、敷地面積の約19%を緑化（屋上緑化、壁面緑化）することで、建物内・外の熱負荷を低減し、省エネルギーに貢献。これらは、平成22年度名古屋市民間施設緑化支援事業に採択され、名古屋市の緑化施設評価認定制度で「NICE GREEN なごや」にも選ばれている。

受賞歴：地球温暖化防止全国ネット

低炭素杯2012 最優秀コミュニケーション賞

設計担当者 統括：池村忠久／建築：竹田昌弘、御松吉里／構造：河野秀生、吉田哲也、設備／二宮勉、水上賢治、小島義包、梶原哲

主要な採用技術（CASBEE準拠）

- Q2. 2. 耐用性・信頼性（非常時現地対策拠点、非常時発電）
- Q3. 1. 生物環境の保全と創出（屋上菜園、ミツバチ飼育）
- LR1. 2. 自然エネルギー利用（太陽光発電、太陽熱給湯システム）
- LR1. 3. 設備システムの高効率化（LED照明、人感センサーによる照明制御）
- LR2. 1. 水資源保護（節水型衛生器具、雨水利用、井戸水利用）
- LR3. 2. 地域環境への配慮（壁面緑化、屋上緑化による建物空調負荷低減）



外観 北西面



太陽光発電



集光発電する太陽電池



足洗場・手洗場・防災ベンチ



屋上菜園

ミツバチの巣箱



屋上菜園



屋上庭園